

第20回国労東日本マラソン大会

個人優勝は鈴木選手(東京)、駅伝は長野AチームがV3達成! 開催!



西尾競技審判長
(走友会)

国労東日本本部は、11月7日に第20回マラソン大会を皇居外周で開催し、最年少は12歳から最年長は76歳までの幅広い年齢層のランナーが激走しました。

個人5キロマラソンは、上位入賞常連の鈴木選手(東京)が2年振りとなる優勝を果たし、15チームのエントリーで競われた駅伝レースでは、序盤は他チームにリードを許しながらも後半に見事な追い上げを見せた長野Aチームが盤石の3連覇を達成しました。

今号は、①第20回マラソン大会、②東日本青年部学習交流会報告、③第27回運転協議会定期委員会報告、④”関東・東北豪雨被害”支援の御礼状報告、とします。

個人5km マラソン成績

1位	東京	鈴木 博文	蒲田駅分会	18分25秒
2位	千葉	名雪 勝男	習志野運輸区	19分40秒
3位	東京	高橋 速遠	家族	19分46秒
4位	千葉	金坂 壽男	蘇我運輸区	20分03秒
5位	千葉	植田 勝	銚子運輸区	20分54秒
6位	東京	戸嶋 茂樹	南柏駅	21分27秒
女性1位	長野	吉江 敏子	家族	27分46秒



前年度優勝チームによる選手宣誓



個人優勝 鈴木選手



女性1位 吉江選手

駅伝マラソン成績

- 1位 長野地本Aチーム 1時間17分37秒
(徳武雄一・小林将巳・轟勝・柳原昭治・松本俊文・平塚隆)
- 2位 千葉地本チーム 1時間18分23秒
(吉野圭祐・吉野友章・吉野広・三好亨・末吉和徳・名雪勝男)
- 3位 国労高崎チーム 1時間19分30秒
(齋藤弦太・関口敬之・桧野皮謙・櫻井功・柳川友作・柳川順哉)

駅伝・区間賞

- 1区(5km) 国労高崎チーム 齋藤 弦太 15分56秒
- 2区(2.5km) 千葉地本チーム 吉野 友章 7分54秒
- 3区(2.5km) 千葉地本チーム 吉野 広 9分52秒
- 4区(2.5km) 長野地本Aチーム 柳原 昭治 9分10秒
- 5区(2.5km) 長野地本Aチーム 松本 俊文 9分55秒
- 6区(5km) かながわAチーム 鈴木 博文 18分43秒



駅伝優勝 長野Aチーム

今大会も、東京走友会・NRUハムクラブ・東京地本のご協力が無事終了しました。紙面を借りてお礼を申し上げます。
※詳細な記録については、ホームページにて掲載しています。

国
労
東
日
本

(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

No. 771 定価 20円

2015年

11月30日

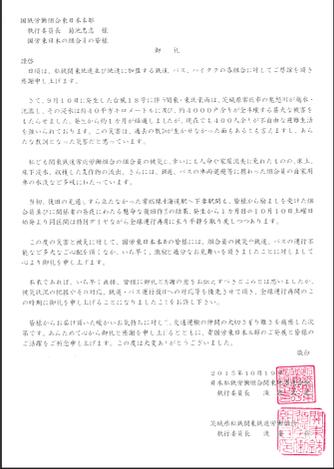
結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を
訴えよう!

QRコードから
でも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

“関東・東北豪雨被害” 組合員による支援に対して 御礼状届く!

(御礼状の本文は
HPに掲載)



東日本青年部 学習交流会

10月12日 10月13日 開催!

9月10日に発生した台風18号に伴う関東・東北豪雨の被害に遭われた方々への、国労東日本組合員一同の激励・支援に対して、日本私鉄労働組合関東地方連合会を通じて御礼状が届きました。

東日本青年部は10月12・13日、長野県千曲市において青年部学習交流会を開催しました。開催にあたり彦田青年部長から「東日本本部管内では8年連続で新規採用者の組織拡大が続いている中で、JR関連会社の方の加入も続いている。昨年6月と本年3月には青年部要求として16年ぶりにJR東日本と団体交渉を行った。交渉を終えた参加者からは『要求内容をきちんと把握し、相手に伝わるよう簡潔にまとめる必要がある』

可欠」、「いい経験になったが勉強不足を感じた」などの感想が出された。貨物会社では新規採用の見送りや16年連続ベアゼ口回答や賃金・手当の抑制など労働条件の改善が喫緊の課題。今回は信州ロジスティクスとの仲間の参加もあり、改めて意見交換や交流を深め、自信と確信を持ちながら国労運動の継承に向けて創意工夫し、組織拡大に向けて取組もう」と挨拶がされました。

その後、東京共同法律事務所村上一也弁護士を講師に「安全保障関連法と憲法」の学習会を開催。憲法の成り立ちや戦争の放棄を謳った条文などの具体的な説明を頂き、9月19日の参議院平和安全特別委員会での国民への説明が不十分で理解も深まっていなとされながら戦争法案が强行採決されたことの重要性を学びました。参加者からは「戦争放棄の成り立ちを学ぶ事が出来た」「ニュースでは取り上げない内容をやってくれて

良かった」などの感想が出されました。学習会終了後は昨年引き続き体育館を使用し、短い時間ではありましたが、スポーツ交流会を開催しました。参加者からは「楽しかった」「リラックスもでき交流が出来た」など、懇親を深める事ができ、夕食時には更に楽しく食事をする事ができました。

翌日は、東日本本部武田組織部長から「労働組合の役割について」の講演を受け、全体交流ではお互いの職場の現状について予定時刻ギリギリまで熱く語り合い、その中で改めて労働組合の必要性を感じる事ができました。東日本青年部では引き続き学習交流会を開催してまいります。

10月16日、大宮地区本部において「第27回東日本運輸協議会定期委員会」が開催されました。座長には東京運車協議会の渡辺さんが選出され、長谷川議長の開会挨拶で始まり、東日本本部の佐藤書記長から情勢並びに当面する活動について報告がされ、工作協議会の小野議長から連帯の挨拶を受けました。



運輸協議会

第27回 定期委員会

10月16日 開催!



命を最優先で行動を。施策見直しや労働条件改善には調査・点検活動が欠かせない。日常業務に流されず記録を取り、報告を。組織の多数化が最善最速の道であり、繋がりを持ちながら一歩前進を」とまとめられました。最後に、松木長野運輸協議長より委員会宣言が読み上げられ、全体の拍手で承認されました。限られた時間ではありましたが「鉄道の安全輸送の確保」に向けて、今後も国労東日本運輸協に団結していくことを互いに確認し、閉会しました。

来賓挨拶の後、経過報告並びに活動方針について、長谷川議長から提起を受け、討論となりました。「検修外注化3年を迎えるの職場実態」、「乗務員勤務の実態」、「エルダー雇用に関して」、「組織拡大について」それぞれ意見を出し、その他に委託先労働条件改善、災害時の勤務扱い、遠距離

通勤解消、JETS交渉等、各地方から職場実態報告と東日本本部・運輸協議会へ質問並びに要請が行われました。発言を受けて佐藤書記長より「他支社にまたがる部分は協約化をめざす。遠距離通勤については今後も解消をめざす」と回答がされました。

集約では、長谷川議長より「検修外注化施策の見直しは継続していく。乗務員勤務改善に向けては勤務プロジェクトと共に対象を拡大し、災害発生時には本人、家族の

新登場。

最新のがん保険、**アフラック**

はじめダック

●商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

F4E 広告課-2014-0044-1412506 8月25日